

宇治市事業者緊急支援金給付事業の実施状況について

国の地方創生臨時交付金等を活用し実施いたしました、「宇治市事業者緊急支援金」の実施状況につきまして報告いたします。

記

1. 制度概要

新型コロナウイルス感染症による影響が1年以上に及ぶ中、令和3年1月以降の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による外出抑制や、休業、時短営業要請に伴い、売上減少の影響を受けている市内事業者を支援するため、宇治市独自の支援金として「事業者緊急支援金」を給付し、市内中小企業等の事業継続を支援する。

- 支給金額 10万円（中小企業・団体、個人事業者いずれも一律）
- 支給対象 事業所の所在地が市内にある法人又は宇治市に住民登録がある個人事業者
- 主な支給要件
 - ・ 事業による収入を得ており、今後も事業を継続する意思がある者
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、前年又は前々年同月比で売上が15%以上減少している者（創業後の期間が短く、前年との売上比較ができない事業者については別途基準を設定）
 - ・ 京都府の協力金支給対象事業者でない者
- 想定対象件数
 - ・ 3,600件
- 周知広報
 - ・ 市政だよりへの掲載（7/1号、7/15号、8/15号）
 - ・ 宇治商工会議所報への掲載（7/1号）
 - ・ 地方紙への広告掲載（6月29日付、8月22日付）
 - ・ 制度案内文書の送付（3,623件分の個別広報）
 - ・ その他、市HP、SNSでの周知 など

2. 実施状況 ※9月22日（水）現在

（申請期間） 令和3年6月28日（月）～8月31日（火）

（申請件数） 3, 217件

（申請内訳）

- ・支給件数 3, 071件（個人2, 119件、法人952件）
- ・不備書類待ち 9件
- ・対象外件数 45件
- ・不備書類再提出 92件

※申請が多い業種としては、建設業、小売業、製造業、理美容業など

<参考> 令和2年度実施の2つの給付金事業との比較

	事業者緊急支援金	事業継続支援金	事業者おうえん給付金
概要	<p>新型コロナの影響の長期化する中、令和3年1月以降の緊急事態宣言等により事業活動に大きな影響を受けている中小企業等の事業継続及び売上回復・向上を支援するため、支援金を支給</p> <p><主な支給要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住所が市内にある個人事業者 ・事業所等が市内にある中小企業等 ・売上が15%以上減少している ・京都府協力金の対象となっていない 	<p>新型コロナの影響の長期化により、事業活動に大きな影響を受けている中小企業等の事業継続及び売上回復・向上を支援するため、支援金を支給</p> <p><主な支給要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住所が市内にある個人事業者 ・事業所等が市内にある中小企業等 ・売上が15%以上減少している ・おうえん給付金を受けていない 	<p>全国を対象とした緊急事態宣言の発出、京都府からの施設の休止、時短要請の影響を受けた事業者等を支援するため、給付金を支給</p> <p>①府休業支援給付金への上乗せ ②宇治市内で卸売業・小売業・飲食業を営む事業所及び認定農業者等（市独自）</p> <p><②の主な支給要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所が市内にある事業者 ・売上の減収要件なし
金額	一律100千円	一律100千円	個人100千円、中小200千円 ※市内に複数の事業所がある場合は、倍額を上限
申請期間	令和3年6月28日～8月31日（65日間）	令和2年7月6日～8月14日（40日間）	令和2年5月7日～6月15日（40日間）
想定件数	3,600件	2,800件	市独自分1,212件、府上乗せ分1,211件
支給実績	3,068件 ※9/17現在	2,622件	市独自分1,055件、府上乗せ分 531件